

雄国湿原利用調査

【目的】

雄国沼湿原における木道の保全状況、休憩舎付近の探勝路、レンゲツツジやニッコウキスゲなどの植物の開花状況他の調査を実施したのでここに報告する。

【概要】

1. 実施日 5月23日 晴れ 6月19日 晴れ 7月5日 曇り
11月21日 曇り
2. 調査者 本多勝男、友坂豊

【調査結果】

- ・ 5月23日： 木道が波をうっていた。また湿原内の順路標識にクマの爪痕らしき跡があった。湿原の入り口のリュウキンカは近年増えている様に思う。
- ・ 7月5日： 木道の保全状態は非常によく歩きやすく、利用者からも好評であった
- ・ 湿原のニッコウキスゲは、去年と比べると若干少ない様に思えるが十分にきれいである。コバイケイソウは今年の開花は少なかった。
- ・ 11月21日： 草紅葉も終わり来訪者は十名程度すれ違っただけで、トレイルランをしていた若者3名がいた。木道内はブッシュが覆い被さりその下には草が生えていた。またせせらぎ探勝路から雄国沼の休憩舎の手前の階段の破損や数年前エコツアー協会で路が水たまりになるため木道を設置した場所が道の真ん中に設置し、また土台が腐って来た。金沢峠のトイレは完成しておりすでに雪囲いがされていた。せせらぎ探勝路から登って来て雄国沼休憩舎と雄国山の分岐の看板が壊れていた。
- ・ アカモノが盗掘されていた。

【考察】

- ・ 湿原付近のリュウキンカは以前から比べるとかなり広がった様に思える。まだまだ環境がよいせいか増える様に思える。
- ・ クマに看板が壊されるのはペンキの臭いに反応する様でいろいろな所でその現象が見られる。小野川探勝路、デコ早稲沢探勝路など
- ・ レンゲツツジは湿原や草地、明るい二次林などに生育する落葉低木で減少しつつあ

る植物の一つである。昔はレンゲツツジの斜面に人々が入りレンゲツツジの咲いている近くでシートなどを敷き食事など楽しんでいた風景があった。これを立ち入り禁止にして以来レンゲツツジより大きくなる植物が入り込み衰退していったようにも思える。

- ・ 雄国沼湿原に訪れる観光客は年々増加しているが、マイカー規制も定着し萩平駐車場からのシャトルバス利用も周知されている。バスの発着時間が不定期で、もう少し分かりやすく発車時間を00分、20分、40分などの様に改善した方が利用客には分かりやすい様に思われる。シャトルバスの最大間隔は45分もあり、時刻表をもっていないとかなり長く待つ事になる。利用客に優しいバスの時刻表作りをお願いしたい。再生を考えるなら人の手を入れてはいかがだろうか？
- ・ 雄子沢からの登山客は午後を過ぎると急に人数が減り、ニッコウキスゲを見るには午後に行く util 利用客もかなり減りゆっくりと観察が出来る様に思う。
- ・ 雄国沼休憩舎のトイレの件は前年立花さんが指摘しており今年も一向に解決されていない様に思われる。今回金沢峠のトイレが出来たので少しは良くなる事を期待する。チップ制を採用しているのでトイレが汚いのは論外に思う。
- ・ 湿原内の木道にブッシュが覆いかぶさりその下には草が生えていた。これは木道が腐る原因でもあるため早急に対処するべきかと思う。
- ・ 休憩舎から水飲み場までの階段が壊れており改善が必要かと思われる。
- ・ せせらぎ探勝路から登って来て雄国沼休憩舎と雄国山の分岐の看板が壊れていたので早急に修理が必要と思われる。
- ・ 数年前エコツアー協会で道が水たまりになるため木道を道の真ん中に設置したので往來に支障がきたす様に思われるので、端に移動した方が良いと思う。また土台も大きく邪魔になる様に思う。
- ・ 金沢峠から新しいトイレの付近にあったアカモノがほとんど盗掘にあった。

雄国沼全景



湿原入り口付近のリュウキンカ



熊の爪痕



波打つ木道



レンゲツツジの開花状況 6月19日



ニッコウキスゲの開花状況 7月5日



雄国沼湿原内の木道



木道に雑草が生える



壊れている方向看板



休憩舎付近の階段の壊れた箇所



エコツアー協会で設置した木道 (1)



(2)



(3)



アカモノが盗掘された箇所



金沢峠付近に新しく設置されたトイレ



紅葉の終わった雄国沼

